

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年9月24日第143号—

<目次>

●訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を国に求めていきましょう

■学校現場でのハラスメントの克服は進んだのか？

▲お知らせコーナー

- ① 9/29 おひさまフェス・星空上映会
- ② 10/4 台風19号多摩川水害5周年フォーラム
- ③ 10/12 あれから5年、多摩川危険箇所の早急な改善を！住民大会
- ④ 10/13 映画「決断」上映+原発事故被災者の講演
- ⑤ 10/27 ゆめシネマ「〇月〇日、区长になる女」
- ⑥ 11/4 子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」
- ⑦ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

★編集後記

●訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を国に求めていきましょう

8月23日川崎市社保協が川崎市に提出していた「介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を国に意見書提出を求めた陳情が審議され不採択となりました。

審議の中では、「今回の改定はショッキング」「在宅介護を支えるうえでは訪問介護はなくてはならないもの」「川崎市では85%の事業所で訪問介護員が不足している」と川崎市でも介護事業所の置かれている深刻な状況を反映した発言を行っていました。

採決では、共産党の2議員が「川崎市では訪問介護員が不足しているにもかかわらず、川崎市が訪問介護に従事する人を増やさないのであれば、不足分を解消していくためには、国に意見書を上げる(国の施策を促していく)ことが大切ではないのか」と採択を求めました。

他の議員は、「川崎市は都市部でありまだまだひっ迫している状況ではない」「国はよく頑張っている」として、不採択を主張しました。

国への意見書は全会一致を旨としていることから不採択となりました。

この陳情には、川崎医療生協から43団体の署名が集められるなど川崎市社保協に結集する多くの団体から賛同署名が寄せられました。

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情

<陳情要旨>

「訪問介護事業所が無くなれば住み慣れた家で暮らしていけない。」「親を介護施設に入れざるを得ない。」。3年に1度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられたことに不安と怒りの声が広がっています。

身体介護、生活援助など、訪問介護はとりわけ独居の方を始め、要介護者や家族の在宅での生活を支える上で欠かせないサービスです。このままでは在宅介護続けられず、「介護崩壊」を招きかねません。

介護報酬は、介護保険から介護事業所に支払われますが、今回の引下げで訪問介護事業所、とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがあります。

既に2023年の訪問介護事業所の倒産は67件と過去最多を更新し、ほとんどが地域密着の小規模・零細事業所です。

厚生労働省は引下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことを挙げていますが、これは、ヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型や、都市部の大手事業所が利益率の「平均値」を引き上げているものであり、実態からかけ離れています。

訪問介護は特に人手不足が深刻です。

長年にわたり訪問介護の基本報酬が引き下げられた結果、ヘルパーの給与は常勤でも全産業平均を月額約6万円も下回ります。

ヘルパーの有効求人倍率は2022年度で15.5倍と、異常な高水準です。

政府は訪問介護の基本報酬を引き下げても、介護職員の処遇改善加算でカバーできるとしていますが、既に加算を受けている事業所は基本報酬引下げで減収となり、その他の加算も算定要件が厳しいものが多く、基本報酬引下げ分をカバーできない事業所が出ると予想されます。

今回の介護報酬改定では、介護職員の処遇改善のため報酬を0.98%引き上げるとしています。

これにより、厚生労働省は職員のベースアップを2024年度に月額7,500円、2025年度に月額6,000円と見込んでいます。

しかし、財源の根拠が不明確で、ベースアップが確実に実行される保証はありません。

このままでは、介護人材の確保はますます困難になるだけです。

以上の趣旨から、地方自治法第99条に基づき、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣に対する意見書の提出を決議していただくよう陳情いたします。

<陳情項目>

1 訪問介護費の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うこと。__
(川崎市社保協ニュースより資料提供)

■学校現場でのハラスメントの克服は進んだのか？

川崎の学校現場で起きているハラスメントに対し、今年の5月23日に、川崎市人権オンブズパーソンが「効果的な研修の実施や、相談体制の改善」を求めて「意見表明」を行ったことは、マスコミも大きく報道したので、覚えていることと思います。

[→意見表明はインターネットで](#)

実に、17年ぶりの異例な意見表明であり、それだけ教職員間のハラスメント対策が緊急を要したことだと思います。

あれから4ヵ月がたとうとしていますが、この「意見表明」は活かされたのかを検証します。

<人権オンブズパーソンの意見表明での「相談窓口」の改善の指摘>

1. 相談窓口が第三者機関であることが望ましく、完全な第三者機関とすることが難しい場合には、何らかの形で第三者を関与させる等により第三者性をもたせることは最低限必要である。
2. 教育委員会が本年度から内部で体制を見直した予防監察・相談調整担当についても極力、第三者性をもたせるような工夫をしているようであるが、内部の部署を違えただけでは不十分である。
3. なぜならば、教育委員会内部に相談するということは、構造上、その相談対応者が、将来的に相談者と関わらないともいえず、また、どこで誰とつながっているかわからない不安がどうしても生じてしまうからである。

特に、パワーハラスメントの加害者といわれる人は管理職であることが多く、相談対応者が加害者であるため相談しづらくなっているにもかかわらず、なお相談窓口が教育委員会内部にあるというのでは、より一層相談しづらいであろう。

このため、今回の意見表明の趣旨からすると、教育委員会内で部署を違えたというだけでは不十分であると考えられる。

<2024年6月19日東京新聞川崎版に「在職中、校長からパワハラ」記事が掲載される>

川崎市立小学校の元事務職員の50代の女性Aが、在職中に勤務校の当時の校長からパワーハラスメントを受けたと訴え、市教育委員会が調査を進めていることが分かった。

対応した職員が国の指針に定められたハラスメント調査に関する研修を受けていないことも判明。

調査途中にもかかわらず職員が「パワハラには当たらない」などと発言しており、ハラスメント対応に詳しい有識者から「二次被害を生んでいる」との指摘も出ている。

<完全な第3者機関の相談窓口が必要です。>

Aさんの相談窓口は、教育委員会の内部の部署である「予防監察・相談調整担当」です。

この相談体制で、本当に、第三者性が明確で、校長からのパワハラ被害者に寄り添った調査ができるのか、たいへん疑問です。

調査報告を最終的に決済するのは、教育委員会の総務部長と職員部長も入るメンバーなのです。まさに、内部そのものです。これでは、市民オンブズパーソンが「内部の部署を違えただけでは不十分」と指摘した通りの状況が、4か月たった現在も続いているのではないのでしょうか。

現在も、勇気もって校長のパワハラを訴えたAさんの不安は、調査中の現在も続いています。

教育委員会内部の部署からは独立し、第三者性がしっかりと保障された「相談体制」に変更することを、川崎市教育委員会は、決断すべきです。(H)

★お知らせコーナー

①第10回おひさまフェス×星空上映会

市民がつくった電気を使って、音楽イベントと映画上映会。

暮らしたい未来は自分達で創ろう！

9/29(日)12:00～19:00 雨天中止

二ヶ領せせらぎ館下の多摩川河川敷(JR 登戸駅下車、徒歩8分)

入場無料

連絡先 高橋 044-722-6766

[公式サイト](#)

②台風19号多摩川水害5周年フォーラム

10/4(金)18:30 開始

川崎市総合自治会館ホール

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

③あれから5年、多摩川危険箇所の早急な改善を！住民大会

10/12(土)14:00 から

幸区みはらし公園

連絡先 坂内(080-5653-6196) 中山(080-5092-5456)

[詳しくはこちら](#)

④映画「決断」上映会+原発事故被災者の講演

講演:森松明希子さん(原発賠償関西訴訟原告団代表)

10/13(日)9:15 映画上映(90分)終了後講演

入場料:無料

予約不要

主催:原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

⑤これからの市民館、図書館について 語り合いませんか？

=行政に市民の声を届けよう=

10/19(土) 14:00~16:00

エポックなかはら 7階 第3会議室

指定管理業者の選定結果について報告

こんな市民館にしてほしい、図書館はこんなサービスもしてほしい、

市民館、図書館の将来のこと、市民も一緒に考えたい・・・

資料代:500円

主催:川崎の文化と図書館を発展させる会 共催:社会教育を考える川崎の会

申込・問合せ:岡本(090—6153—9566)

[詳しくはこちら](#)

⑤ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

10/27(日)

① 9時

② 12時

③ 15時(監督アフタートーク)

④ 18時

場所:かわさきゆめホール

前売予約:1,000円

当日:1,500円

障がい者・学生以下:500円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

[詳しくはこちら](#)

⑥子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」

11/4(月祝)

① 10時

② 12時半

③ 15時

④ 17時半

会場:かわさきゆめホール

前売券:一般 800円／障がい者 400円／学生・子ども 200円

当日券:一般 1,000円／障がい者 500円／学生・子ども 300円

お申込:044-433-3003 ゆめホール／kodomomiraisyukai@yahoo.co.jp

問合せ:事務局・船津了 Tel・Fax:044-434-4290

主催:子どもの未来をひらく川崎集会実行委員会

協力:ゆめホールシネマ倶楽部

後援:川崎市／川崎市教育委員会

[公式サイト](#)

[詳しくはこちら](#)

⑦京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29(金)より12/8(日)まで

会場:スペース京浜

前売り券:一般 3,500円、障がい者・学生 2,000円

当日券:各 500 円増

[公式サイト](#)

★編集後記

NHK 朝ドラ「虎に翼」が最終週を迎えています。

真の民主主義とは、真の平等とは何か、人生の、人間の本质に迫るやりとりに、幾度涙したことか。

「司法の独立」を護り、あくまでも「法理」に基づいた判決をくだそうと努力する裁判官が居たことに感動します。

しかし、1971 年、最高裁判所は、裁判官会議において、宮本康昭裁判官を再任名簿から除外し、また 23 期司法修習生の裁判官志望者のうち、7 名について採用を拒否しました。

その背景には、自民党が、自民党にとって都合の悪い、あるいは、自民党の価値観からかけ離れた判決を「偏向判決」と決めつけ青年法律家協会を目の敵にして左遷しました。これに対して全国の裁判官 470 名、法律学者 600 余名が撤回を求めています。

私たちの目に見えないところで、裁判の公正を保つ闘いが連綿と続けられているということ。心より敬意を表したい。

尊属殺重罰規定違憲判決がどう描かれるか。期待が膨らみます。

さて、立憲民主党の党首選。野田氏が選ばれました。

消費税率 10% に道をつけた張本人です。

物価高に苦しむ国民生活救済の切り札が消費税減税と多くの国民が思っているのに、どうやって国民生活救済を実現するつもりでしょうか。

政権を取ると言いながら野党連携には後ろ向き。どうやって政権を取るのでしょうか。

立憲民主党への国民の期待は崩壊し、自民党は、メディアの協力を得て、党首選の茶番劇で支持率を持ち上げたところで総選挙に打って出る。

自民党の思うつぼです。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき!☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/TaK8xInlTtNr?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp